

芸短大で、高大連携授業を実施しました！！

2月20日（木）5限から7限にかけて、隣に併設されている大分県立芸術文化短期大学にお邪魔して、大学の先生の授業を受講しました。新しくなった大学の施設の中、松坂先生、中原先生、松本先生を迎え、それぞれ、「間のデザイン」「彩画」「ペーパーナイフ」の三つに分かれての授業を開講して戴きました。

「間のデザイン」では、紙を直線で切り貼りして、面白い空間を探すことから始まり、無駄な線を省くことが良いデザインに繋がっていることを教授戴きました。「ペーパーナイフ」では、手にフィットする形を考え、模型をもとに、実際、木片を削ることで、手で確かめながら、そのデザインを体感することができました。「彩画」では、講師の先生の人生体験をもとに、何のために描くのか、存在論にも近い内容を講義戴きました。今年度の前期試験で実施された内容と同じようなモチーフをセットされた中、物と空間の在り方に触れることができました。芸術の在り方、進路選択の一助となった午後となりました。

